



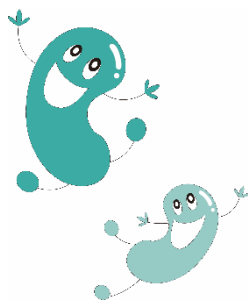
2021年8月31日発行

座光寺石原遺跡 発掘だより

第 6 号

■ 古墳の調査進む

13 区の北側でみつかったナギジリ 2 号古墳は、天井石を残した状態で、前面や上面の石をできるかぎり露出させ、上空から 3D 測量の写真撮影を行いました。写真を使って平面図を作成していきます。続いて、天井石や、明らかに動かされている大きな石を取り除いて、石室の上面を露出させました。天井石はすべて花崗岩で、大きなものは横幅 210 センチメートル、重さは約 3.2 トンあります。今後は、墳丘の裾まで掘削して古墳全体の形状を明らかにする一方で、石室内部を慎重に掘り下げていく予定です。



ナギジリ 2 号墳の正面 南から撮影



ドローンによる古墳の撮影 東から撮影



一番南側の天井石を外した状態



取り除いた 3 個(計 6.4 トン)の天井石

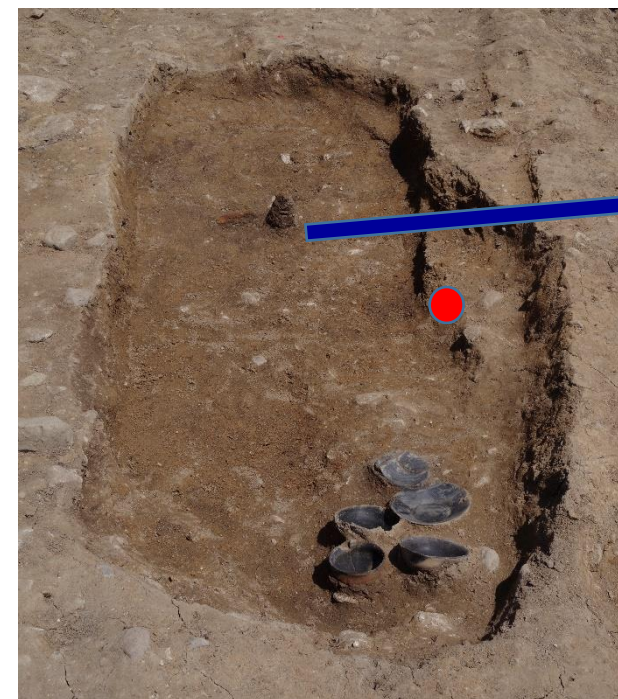


天井石を取り除いた石室上面 南から撮影

■ 9 区の調査終了

6 月に高坏が出土した SK04 は、南北の最大長 264 cm、最大幅 125 cm、深さ 26 cm の土坑墓と考えられます。東壁から南壁にかけて張り出した底面は、中央部付近よりやや

高くなっています。北を頭に埋葬したとすると、足元に古墳時代後期の土師器の坏が 5 つ置かれ、胸のあたりから鉄鏃が 9 本出土しています。



鉄鏃出土状況

遺物出土状況 赤丸は高坏出土地点 南から撮影

座光寺石原遺跡発掘だより 第 6 号
長野県埋蔵文化財センター 飯田支所
飯田支所：0265-49-0736
maibun-iida@naganobunka.or.jp
発掘現場：090-2337-3138
HP：<http://naganomaibun.or.jp/>
(担当：若林卓・伊藤愛・平林彰)